

令和2年度 自己評価結果公表シート 富高幼稚園

1.幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標

子どもの自立と共生の心を育む

○子どもの自立を促すために

「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2.本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1.遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動をする教育の充実に努める。
- 2.規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実を図る。
- 3.幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
- 4.安心で安全な幼稚園を保證するための取り組みに努める。
- 5.幼稚園と小学校との連携を推進する
- 6.地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
1.教育活動の充実	A	自らが試行錯誤しながら主体的に遊べる環境・保育の工夫を行ってきた。環境を再構築しながら、より良い環境を提供できる努力を続けたい。
2.道徳指導等の充実	B	「いつ・誰と・どんな時も」揺るがない道徳観を培う為、日々丁寧に保育しているが、友だちとの関りにおいて指導上難しさを感じる場面がある。図書コーナーも出来た為、視覚的教材も有効に使いながら指導していきたい。
3.基本的な生活習慣	A	年齢間・学年間の話し合いの場を増やし、繋がりのある指導を意識して取り組んできた。家庭環境に配慮しながら、個別に応じて基本的生活習慣の習得に努めてきた。
4.安心で安全な幼稚園	A	事故0も850日を超え、職員の危機管理能力の向上を感じられる。コロナウイルス対策として、消毒・検温・行動の自粛等のお願いを保護者に要求するだけでなく、職員も徹底した自己管理を実践できた。
5.小学校との連携	A	保護者・市や学校との連携がうまくいき、適切な支援が受けられるよう引継ぎが行えた。管理職中心で参加していた研修会に年長担任が参加する機会を設けた事で、質の向上に繋がると思われる。
6.豊かな交流体験の充実	B	異年齢での活動に制限はあったが、朝の自由遊び(選択)を取り入れたことで、新たな異年齢の関わりが見られている。直接的な関わりではないが、高校生との新たな取り組みが始められた為、継続的に行っていきたい。

4.幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	コロナ禍で、色々と行事や保育の進め方を考える一年であった。これまでのやり方や進め方を見直す中で、新たな方法や内容に気付く機会となる。引き続き、色々な視点で遊びに目を向け、子ども達が主体的となる環境の充実と、保育の質の向上を目指していきたいと思う。

※項目 3.4 の評価結果の表示方法

A: 十分達成されている B: 達成されている

C: 取り組まれているが成果が十分でない D: 取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
1. 教育活動の充実	主体的活動に対する職員の意識の向上の為、研修・話し合い等の時間を定期的に作っていききたい。
2. 道徳指導等の充実	友だちとの関わり方について、難しい案件もある為、園全体、全職員での指導と家庭環境の把握に努めていききたい。
3. 基本的な生活習慣	保護者との繋がりを意識し、共に子育てをしている事を感じられるよう日々の様子や具体的な個人の課題を伝えるようにしていきたい。
4. 安心して安全な幼稚園	子ども自身の安全・衛生への知識・習慣の習得に着目して取り組んでいきたい。
5. 小学校との連携	就学相談や、園訪問、小学校訪問等機会があれば積極的に活用し、互いの教育の理解に努めたい。
6. 豊かな交流体験の充実	異年齢活動については、さらにねらいに近付ける為、根本的に活動の見直しを行っていききたい。
6. 特記事項	
学校関係者の評価	特に指摘する事項はなく、妥当であると認められる。